

# 「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 1 日

事業名称		選挙管理委員会運営費 [選挙管理委員会運営事務]										
予算科目	款	2	総務費	項	4	選挙費	目	1	選挙管理委員会事務費	事業番号	2	
事業の種別		<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) <input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの										
担当部署・課長名		選挙管理委員会事務局 課 選挙				係		課長名		井上 昌弘		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		行 - 2		
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現								総合計画書 (ページ)		122		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	当該年度に開催した選挙管理委員会における付議案件					選挙管理委員会における付議案件数						
	→											
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	選挙管理委員会の適正な運営を図る。					付議案件数/選挙管理委員会において付議すべき案件数						
3 経費	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	定例委員会を毎月1回開催し、選挙人名簿からの抹消、選挙人名簿への定時登録等委員会の権限に属する事項について議案の審議を行った。					付議案件数						
		単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標					
			平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標					
対象指標	①の数値	件	55	44	45							
成果指標	②の数値	%	100	100	100							
目標	②の目標値	-	選挙管理委員会の適正な運営の継続	選挙管理委員会の適正な運営の継続	選挙管理委員会の適正な運営の継続							
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)												
選挙管理委員会の適正な運営のため、提案した議案に対する議決した議案の割合												
活動指標	③の数値	件	55	44	45							
3 経費	事業費(実績)		円	2,826,574	2,866,674	2,629,444	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	2,810,604	2,848,314	2,622,134						
		特定財源	円	15,970	18,360	7,310						
		(うち受益者負担)	円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0						
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0						
職員人件費(再任用以外)		円	8,310,000	8,380,000	8,250,000							
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0							
事業費+人件費		円	11,136,574	11,246,674	10,879,444							
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く 選挙人名簿からの抹消、選挙人名簿への定時登録その他選挙管理委員会の権限に属する事務手続は、公職選挙法その他の関係法令に規定されており、当該法令を正しく解釈し、事務を適正に執行することが求められる。そのため、研修等に積極的に参加することで、関係法令等の解釈をより一層深め、複雑多様化する事務を適正に執行する必要がある。											
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く											